

2018年10月26日 第3265回例会

於： 米山梅吉記念館（三島）

<点鐘・開会> 14:30 北村 会長
<斉 唱> 「我等の生業」



<ゲスト紹介> *米山記念館委員 宮島 賢次 様 (沼津西RC)

<会長報告> *RI第2780地区 本厚木ロータリークラブ認証状伝達式 報告
*ガバナー事務所より

- ・クラブ研修リーダーセミナー開催のご案内について
11月13日(火) 登録13:30～ 開会14:00～
於：アイクロス湘南6階
- ・米山学友会主催「国際交流会」開催のご案内について
11月18日(日) 13:00～16:30
於：二宮生涯学習センター
- ・地区会員増強事例セミナー開催のご案内について
12月 4日(火) 15:00～16:55
於：アイクロス湘南

<幹事報告> *エンド・ポリオ募金のご案内について
11月4日(日) 10:30集合 於：ドブ板通りイベント広場
ロータリーキャップ着用 15:00より慰労会の予定

<出席報告> *出席委員会 福西委員長より10月26日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	95名	34名	61名	37名	68.27%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 本日の移動例会、米山記念館をお借りする事となりました。米山記念館地区委員 宮島賢次様、本日の卓話誠にありがとうございます。
- ・田 邊、前 田、徳 永、岡 田、高橋(秀)、福 西、岩 瀬、清 水、
小 山、新倉(良)、原 田、中村(勝)、臼 井、高橋(隆)、上 林、佐久間、
齋藤(眞)、澤 田、角 井、八 巻、加藤(博)、長 尾、鈴木(豊)、八 木 各会員
今日は横須賀からやって来ました。米山梅吉記念館の皆様、本日は大変お世話になります。宮島賢次様卓話どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・飯 塚 会員 今日帰ります。



<卓 話> 「米山梅吉記念館の成り立ち」

米山記念館委員 宮島 賢次 様

皆様、本日は大勢いらっしゃっていただきましてありがとうございます。感謝申し上げます。この記念館で常駐しているのは学芸員のみでして、私ども記念館委員は全員で6名おりますが、ご来客の方がいらっしゃる時に交代で対応をさせていただいております。詳しい説明は、後程、学芸員の方からさせていただきますので、私からは当館の成り立ちなどの説明にとどめることにいたします。

まず、当館の正式名称は、公益財団法人米山梅吉記念館と申しまして、設立は昭和44年3月のことです。ご存知のこととは思いますが、奨学金の団体とは別の団体です。奨学金については、皆様から多額の支援をいただいておりますけれど、当館は皆様からの寄付金だけで運営しております。



この点は、重々説明するようにとわれております。ただ、貴クラブでは、小沢一彦様が奨学金の方の理事長をなさっていましたのでよくご存知のこととは思いますが。

当館は、日本ロータリーの創設者である米山梅吉を記念するとともに、社会奉仕、国際親善に人生を捧げた米山梅吉の思想を普及し、もってより良い社会の形成の推進、健全な地域社会の発展、青少年の健全な育成及び国際相互理解の促進に寄与する事業を行うことを目的として設立されました。また、記念館の建設に関しては、入口右手にあった赤い屋根の建物が旧館です。これは、米山梅吉の別邸であり、この場所とは別の場所にあったものを昭和44年9月に移築したものです。その後、来客者の増加などによって旧館が手狭になったことから、新館を建設することになりました。この記念館は、築20年になります。少し建物自体が古くなってきましたし、来年に行われる財団設立50周年の記念事業に向けて改装が検討されています。

新館は、移動例会や見学などで北は北海道から南は沖縄まで、全国から多くのロータリアンにお越しいただいています。館の運営にあたっては、庭や施設の清掃を含めてこの地区のロータリアンがボランティアで行っています。特に、本館で例会を行っている長泉ロータリークラブと裾野ロータリークラブの皆さんが中心となって行っていていただいております。

例祭については、春と秋の年2回行われています。春は4月28日の米山梅吉の命日に合わせて、秋は9月16日の創立記念日に合わせて、それぞれ近日の土曜日に開催しています。内容は、墓参、式典、後援会、演奏会、懇親会などで参加無料となっています。ちなみに、9月に行われた例祭では、札幌から10数名のロータリアンが地震直後にもかかわらず来ていただきました。また、奄美大島からお一人でいらっしゃったロータリアンの方もいます。例祭は、例年150名ほどのロータリアンがいらっしゃいます。演奏会は、米山学友の方が中心となって行っています。

館報は年2回発行し、各クラブに1部ずつ郵送しています。この中に館報を見たことがある方はいらっしゃいますか。1部しか送らないものですから、なかなか読んだことがある方がいらっしゃらないのですが、是非中身を読んでいただければと思います。また、振込用紙が同封されております。3000円をお支払いいただくと賛助会員になることができ、館報を直接郵送しております。

2002年には、当時のRI会長が公式訪問されました。庭に記念碑とそのときの植樹があります。それまではロータリーエンブレムの使用ができなかったのですが、RI会長がエンブレムの使用をしたらどうだと言っていたおかげで、翌年にRIからエンブレムの使用許可が出ました。

運営資金については全てを寄付金で賄っています。当地区である第2620地区のほかに、第2780地区、第2590地区、東京ロータリークラブからも毎年多額の寄付をいただいております。神奈川の地区については、かつて神奈川・静岡・山梨が同じ地区でしたので、そういうご縁もあってご支援いただいていると思っております。また、神奈川からの訪問クラブもとても多いです。昨日は、横浜戸塚ロータリークラブが訪問され、一昨日は小田原ロータリークラブが訪問されましたので、横須賀ロータリークラブの訪問によって3日続けての訪問をいただいております。日頃からご理解ご協力をいただいていることに関しまして感謝申し上げます。

当館の年間経費は、毎年1500万円ほどかかっています。学芸員が一人しかおりませんので、もう一人雇いたいと思っているのですが、そうするとさらに経費が掛かりますので、より一層のご支援をお願いするところです。

ここからは、少し米山梅吉の話をいたします。梅吉は、1868年（慶応4年）東京生まれで、その年の10月には明治に変わるとい時代でした。父親は、大和国の高取藩士、母親は三島大社の神官の娘でした。梅吉が4歳のときに父親が亡くなったため、母親の実家である三島に移り住むようになりました。兄が学校の教師をしていたので、梅吉もその学校に通っていたのですが、11歳の頃、あまりにも優秀だということで米山家が養子に欲しいという申し出をして、それから米山姓を名乗るようになりました。まだ話が続くのですが、お時間の都合もありますので、このあとは学芸員の説明を聞いていただければと思います。

また、来年9月14日には、財団設立50周年の記念式典がございます。前回35周年の際にも盛大に行われましたが、是非来年の式典にも多くの皆さんにおいでいただきたいと思っております。拙い説明でしたがご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 15:00 北村 会長

週報担当 角 井 駿 輔



例会後米山梅吉記念館にて記念撮影

その後、施設見学 ～米山梅吉翁の足跡を訪ねて会館内見学～